

志星祭

第45回志星祭が今年も無事終了いたしました。
今年のテーマは、カラダにピース“カルビス”
にちなみ「カラダにTeeth」に決定いたしました。
こちらの黒板アートは学生がフリー手
で描いた作品です!!

11月～3月 行事予定

11月16日 オープンキャンパス⑧

12月13日 終業

12月14日 オープンキャンパス⑨

12月26～1月5日 全館閉鎖

1月7日 始業

2月16日 国家試験

3月7日 卒業式

3月12日 終業

3月26日 オープンキャンパス⑩

OPEN CAMPUS

12/14 [土] 3/26 [水]

- 交通費補助最大10,000円
- 美味しいランチ付き
- 保護者説明会同時開催
- 何度も楽しめる体験実習

お申し込みはHP・LINE・電話・メールから



第31号 発行 2024年11月
北海道歯科技術専門学校
発行 総務部広報課
TEL 011-372-2457

2024 CONTESTO

志星祭では、普段授業で作ることのできない難易度の高い彫刻や、歯科技工物に挑戦することができます。彫刻部門と技工部門に分かれ、各学年ごとに賞が授与されます。

今年もレベルが高い作品が勢揃いでした！

彫刻部門・最優秀賞

◆受賞した感想◆

賞状を頂いたことで、より自信がつきました。
今はまだ実力と経験不足なので、これからもたくさん頑張ります。

◆大変だったところ◆

初めて彫った歯だったので、溝がとても難しかったです。歯帯の部分も苦戦しましたが、上手にできました。

◆受賞した感想◆

先生方にどのような模型がいいか沢山聞き、選ぶところから
こだわっていたので、賞をとれてとてもうれしかったです。

◆大変だったところ◆

いつも彫っている模型とは違い、溝や窓が細かく、
点のような所ばかりだったのでバランスを入れる角度に
気をつけながら彫ることが大変でした。

◆受賞した感想◆

今まで作った彫刻の中でも、うまく出来た彫刻だったので受賞できてとてもうれしかったです。

◆大変だったところ◆

歯根の裏側を削るときに、余計な傷を付けないように滑らかにするのが大変でした。

技工部門・最優秀賞

◆受賞した感想◆

卒業する前に賞をもらえてよかったです。
母に「研究科に行かせて良かった」と
言ってもらえたことがうれしかったです。

◆大変だったところ◆

メタルの適合を合わせるのを頑張りました。
フィニッシュラインをうねらせるのが大変でした。

研究科生
谷水 七彩
(東川高校出身)

◆受賞した感想◆

今まで賞をいただけたことがなかったので
びっくりしましたが、とても嬉しかったです。

◆大変だったところ◆

授業で製作していた部分床とは違う工程がいくつかあって
大変でしたが、先生に指導していただきながら頑張りました。

本科 2年生
丹後 心李
(函館柏稜高校出身)

国内研修旅行 大阪

本科2年生

Day 1 Day 2 Day 3

出発 和田精密歯研(見学) 関西自主研修 USJ 帰宅

和田精密歯研株式会社さんにお邪魔しました。普段見る機会がない最先端の設備、様々な技工物を触させていただきました。

自主研修では、大阪ならではの観光スポットに行ったり、おいしいご焼き菓子さんを調べて食べに行ったり、充実した1日を過ごしました!

7:45少し早めの集合時間でしたが、みんな準備万端です!!

到着後、ホテルで昼食 景色も良かったので記念撮影

USJではそれぞれ、キャラクターのかわいいグッズを購入し国内を楽しみました。

海外研修旅行 台湾

研究科生

Day 1 Day 2 Day 3 Day 4

出発 台湾市内研修 九份散策 台北101 B & S 研修 帰宅

出発は12:00少し遅めフライトです
新千歳空港で待機時間が長かったため
少し散策中…初日は移動で終了

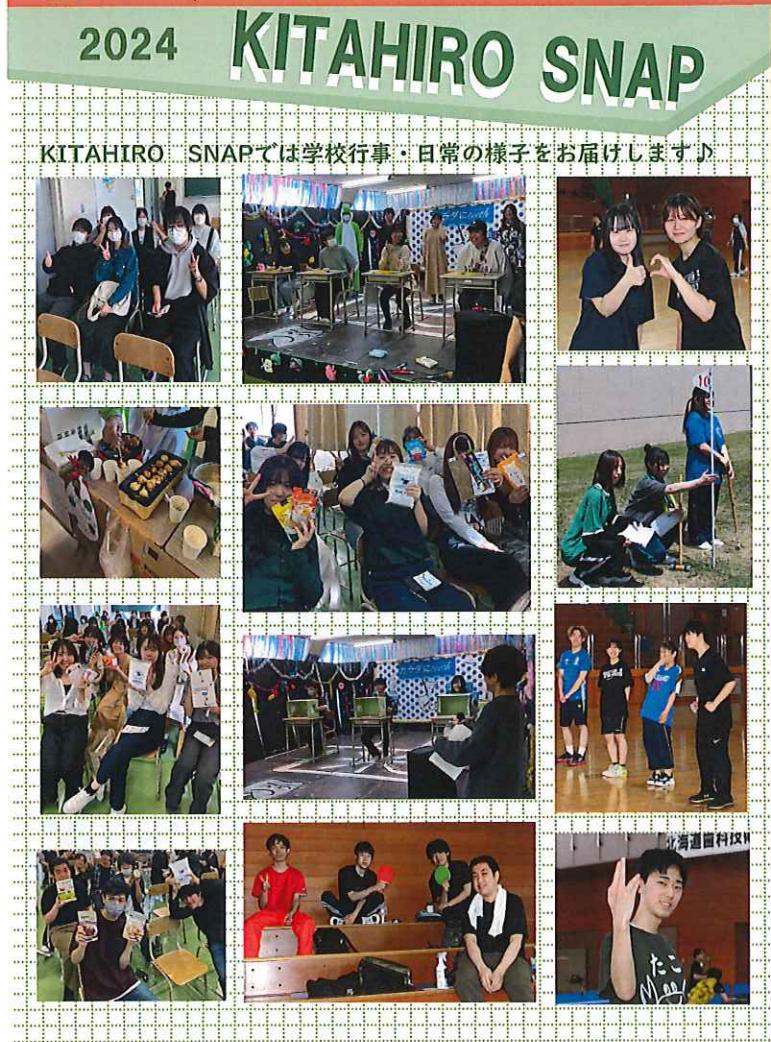
2日目は故宮博物館、忠烈祠
で台湾の歴史に触れました。

九份を散策♪台湾発祥のダージーバイを見つけました!

昼食は中華棧という
お店で飲茶料理!!
美味しい!

台湾医学大学にも
お邪魔しました!
タピオカのプレゼン
もいただきました♪

自由行動では動物園に行
った学生も!パンダにも会
いました♪



アメリカで活躍している 卒業生が帰ってきた!!

16期卒業 池田 裕美さん

技工士になろうと思つきかけ

現在アメリカでお仕事をなさっている、本校の卒業生が遊びに来てくれました!海外での仕事や、暮らしについてインタビューに答えていただきました歯科技工士になろうが迷っていらっしゃる方、将来は海外で働きたい!!と考えている方必見です!!

海外での仕事について

海外での生活は、日本と異なる価値観や習慣に触れ、視野が広がる貴重な経験です。言語や文化の違いで勉強することもあります。日本においてもそれは同じです。仕事においては常に必要です。仕事においても、異なる文化的背景を持つチームと協力し、新しい発見が多くあります。自分の常識は他人の常識ではないといふことも学びます。

技工士を志したのは、物づくりへの興味と医療分野に携わりたいという思いからです。私たち歯科技工士は細かい作業が多く、職人技を活かせる一方で、患者さんの生活を支える重要な役割を担っています。その責任感と達成感に魅了されました。

これから技工士になる方へ

歯科技工士という職業は、非常にやりがいがある一方で、絶え間ない技術革新に対応し、常に学び続けることが求められます。そのためには、向上心を持ち続ければ、新しい技術や知識に積極的に挑戦する姿勢が欠かせません。さらに、歯科技工士は一度ギャラから離れない職業でもあります。復帰しやすい職業でもあります。この職業で得た知識は、自分だけのものとして蓄積され、描けるものになります。こうして気づき上げた価値が、職業としての確かな土台となることを確認しています。

歯科技工士のやりがい

歯科技工士のやりがいは、患者さんの笑顔や喜びの声を聞ける瞬間と、チームと一緒にゴール達成ができる瞬間です。私たちの技術が患者さんの生活の質の向上に直接関わるため、その成果を実感する度にやりがいを感じます。